

## 地域コミュニティのあり方検討委員会における論点整理

今後の議論を進めるにあたって、論点を整理させていただきました。

詳しくは、会議当日に資料で説明いたしますが、事前にお読みいただき会議にご参加くださいますようお願いいたします。なお、当日は全ての委員から一言ずつご発言頂く予定です。

### 1. 検討委員会の目的

10年後、20年後も安心して暮らせる地域コミュニティのあり方を考えること

### 2. 検討委員会設置の背景

邑南町では、まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020 を策定し、人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちとなるための施策を展開しています。

邑南町の人口はピーク時（1985年）から約5,600人、平成の町村合併頃（2005年）から約2,800人減少するとともに高齢化も進み、これまで行ってきたコミュニティ活動の維持が困難になりつつあります。

また、コロナ禍で様々な地域活動の休止を余儀なくされましたが、そうした状況下でも解決すべき地域課題はあり、新たな課題も発生しています。

10年後、20年後を見据え、地域が活力をもち持続可能な地域をつくっていくための仕組みを、住民の皆さんとともに考えていくために設置するものです。

### 3. 地域の現状

- ・ 邑南町のコミュニティは「地区(公民館区)」、「自治会」、「集落」の3階層に分けられます。
- ・ 地域では、役員のこと（なり手不足、負担）、活動のこと（硬直化、参加者少）、行政からの依頼事項が多いことをコミュニティの課題と感じています（邑南町自治会集落調査結果より）。
- ・ 行政から地域へは、自治会との業務協定に基づくもののほかに、各課から地域へ直接お願いしていることがあります。
- ・ 人口減少は今後も続き、高齢化率も高まることが見込まれています。

### 4. 検討委員会における論点

■ 人口減少、高齢化が進むなかでも、誰もが安心して安全に暮らせ、心豊かに生活できる環境をつくるために、必要な機能を維持できる仕組みとは？

- ・ 新型コロナ禍のような状況下でも活動が継続する組織とは？
- ・ 複雑化・多様化する地域課題に対応できる仕組みや組織とは？
- ・ 地域の負担を軽減しつつ、行政サービスを効果的に行うには？
- ・ コミュニティの計画や活動に女性・若者・子ども達を含めた一人ひとりの意見が反映されるためには？
- ・ 持続可能な地域を維持するためにふさわしい地域コミュニティ組織とは？